

高等教育活性化シリーズ 246 (通算 570 回)

2013 年 11 月 21 日 (木)

教育・研修の義務化と体制強化——

研究活動倫理の検証と進化策 II

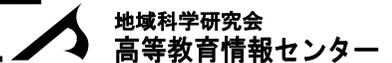
～責任ある研究とは/ガイドラインの評価・改善/利益相反対策/教育プログラムの実際～

- ※ [文部科学省]「研究における不正行為・研究費の不正使用に関するタスクフォース」の中間取りまとめ
- ※ [筑波大学] 研究倫理教育への取組み/大学院共通科目「研究倫理」の実際
- ※ 医学系アカデミアにおける利益相反 (COI) マネジメントの強化策/ガイドラインへ
- ※ 学問的誠実性の国際動向/責任ある研究活動・研究倫理に向けた大学・学会の責務/教育プログラム

● 講師陣 ●

文部科学省 / 研究における不正行為・研究費の不正使用に関するタスクフォース
 岡林 浩嗣 氏 / 筑波大学 生命領域学際研究センター 講師 URA 推進室 室員
 飯田香緒里 氏 / (国) 東京医科歯科大学 研究・産学連携推進機構教授 産学連携研究センター長
 学術研究機関における医学研究 COI マネジメント検討班 主任研究員
 羽田 貴史 氏 / (国) 東北大学 高等教育開発推進センター 教授

2013 年 11 月 21 日 (木) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



日時: 2013 年 11 月 21 日 (木) 10:00~16:50
 会場: 日本教育会館 (東京・神保町)
 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833
 アクセス: 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」
 A1 出口より徒歩 3 分
<http://www.jec.or.jp/koutuu/>
 ※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。
 参加費: A. ご一名 (資料代込) 39,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 40,000 円 (送料、消費税込)
 ※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。
 ※開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたします。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪くときには、代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。
 申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj>

☆同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJ の URL にてご覧ください。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

— 研修会参加申込書 —

高等教育活性化シリーズ 246

2013 年 月 日

研究活動倫理の検証と進化策 II

(□ に ✓ 印を入れてください)

当日参加 メディア参加
 支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
 必要書類 請求書 見積書

勤務先 _____

〒

連絡部課・担当者名 _____

所在地 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 10:30	<p><input type="checkbox"/> [論点整理タイム]</p> <p>研究不正に対する文部科学省の取組と今後の施策展開 ～「不正行為・不正使用のタスクフォース中間まとめ」を踏まえて～</p> <p>1. 読み解く ○パワーポイントスライド資料 「研究不正に対する国の施策～不正行為・不正使用のタスクフォース中間まとめを踏まえて～」 ○「タスクフォース中間まとめ」本文</p> <p>2. 書く／アンケートへの記入 ○「タスクフォース中間まとめ」への疑問・質問 ○「タスクフォース中間まとめ」への意見・提言</p>
10:30) 11:40	<p><input type="checkbox"/> 筑波大学における研究倫理教育への取組み ～ 大学院共通科目「研究倫理」の実際 ～</p> <p style="text-align: right;">筑波大学 岡林 浩嗣</p> <p>はじめに～科学者の社会的責任と研究倫理</p> <p>1. 研究倫理教育プログラムの背景 2. 大学院共通科目「研究倫理」の実際 3. 研究不正対策を巡る諸問題と今後の課題 (質疑応答)</p>
12:40) 14:40	<p><input type="checkbox"/> 医学研究利益相反 (COI) マネジメント体制強化策 ～ アカデミアにおける COI に関する調査結果を踏まえて ～</p> <p style="text-align: right;">東京医科歯科大学 飯田香緒里</p> <p>1. 医学研究と産学連携 (1) 新たな医療の実現と産学連携 (2) 医学系アカデミアにおける産学連携実施状況：医学研究費の現状</p> <p>2. COI マネジメントを巡る動向 (1) 医学研究 COI を巡る動向 (2) COI と臨床研究に関わる各種指針 (3) 米国サンシャイン法について (4) 透明性ガイドラインについて</p> <p>3. アカデミアにおける COI マネジメントに関する調査報告と今後の施策 (1) 医学系アカデミアにおける COI マネジメントの現状 (2) 医学研究 COI の課題 (3) 医学研究 COI マネジメントガイドライン策定に向けて (質疑応答)</p>
14:50) 16:50	<p><input type="checkbox"/> 研究倫理確立に向けた大学・学会の責務 ～ 責任ある研究活動を目指す国際動向と日本の課題 ～</p> <p style="text-align: right;">東北大学 羽田 貴史</p> <p>1. Academic integrity (学問的誠実性) を取り巻く国際動向 (1) Academic integrity (学問的誠実性) とは (2) 諸外国の対応 (3) 日本の対応</p> <p>2. 国際動向が示唆するもの (1) 研究の国際化と出版・編集者の共通規範化 (2) OECD と世界会議 (第1～第3回) (3) 欧州科学評議会 (ESF) とグッド・プラクティス (4) 国際的共同の取り組みからの知見</p> <p>3. 日本の現状と課題 (1) 日本学術会議「科学者の行動規範」と科学技術・学術審議会ガイドライン (2) 研究規範確立をめぐる課題 (3) 研究倫理確立のための教育と学習 (4) 大学と学会は何をなすべきか (質疑応答)</p>